

2026(令和8)年度

徳島大学大学院創成科学研究科
生物資源学専攻
博士前期課程

学 生 募 集 要 項

(推薦入学特別入試)

徳 島 大 学

趣旨・目的・指針

趣旨

徳島大学は、産官学連携により地方創生を推進することを大学の目標としていますが、地域の生物資源を生かした地方創生を実現化するためには、生物資源学に関する高度な知識と先端的技术に加えて、内閣府の政策である超スマート社会（Society 5.0）への転換が必要とされています。すなわち ICT や AI による新たな価値の創造に貢献できる人材の育成が必要です。

目的

生物資源の持続可能な開発は、人類にとって最も重要な課題の一つであり、地域社会のみならず国際社会においても総合的な取組が必要な分野です。また、1 次産業の成長産業化や 6 次産業化は、地域創生のための国の重要政策になっています。生物資源学専攻は、地域創生の原動力となる国際競争力の高い生物資源の開発に貢献できる人材育成を目的としています。

指針

生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化等による新しいバイオ産業の創生や、新しい機能食品や食品製造システム等の開発等による新しい食品産業の創生、並びに農工連携による生物生産システムの構築や新しい育種・品種改良技術による一次産業の成長産業化等を目指す教育を進めていきます。

2026(令和8)年度徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻 博士前期課程

学 生 募 集 要 項

I. アドミッション・ポリシー

(1) 全学アドミッション・ポリシー

徳島大学は、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、卓越した学術および文化を継承するとともに学びの志と進取の気風をもち、未来へ飛躍する人材を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○博士前期課程及び修士課程

- ・ 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
- ・ 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
- ・ 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる産業創出又は医療の深化・発展のために貢献しようとする人

(2) 創成科学研究科のアドミッション・ポリシー

創成科学研究科博士前期課程では、その理念、目標、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を踏まえ、中長期的な産業界・社会のニーズを踏まえ、グローバルかつ複合的な視点から科学・技術・産業・社会の諸領域において新たな価値を創成できる高度専門職業人を養成するため、課題に対し自ら積極的に取り組む主体性、社会の多様性を理解できる能力、協働性をもった次のような人を求めています。

○求める人物像

1. 専門的知識と論理的思考を備え、明確な問題意識をもって研究を進める能力に加え、専門的な職業に従事できる高度な能力を修得しようとする人
2. 多様な情報を的確に把握し、自らの自由な発想でその真偽と活用を判断し、高い倫理観・責任感を身につけ、自立して行動しようとする人
3. 世界水準を目指す研究成果の発信により、地域を発展させる新たな価値の創成のために貢献しようとする人

(3) 生物資源学専攻のアドミッション・ポリシー

生物資源学専攻では、生物工学的アプローチによる生物資源のヘルスサイエンスへの応用・製品化によって新規バイオ産業の創成に貢献できる人材、栄養・健康の観点から生物資源を捉え、食料問題の解決、有用成分の発見や新しい食品加工技術によって新規食品産業の創成に貢献できる人材、及び農工連携による生物資源の生産管理システム、革新的な育種・品種改良、

資源の高機能化による1次産業の発展に貢献できる人材の育成を目指し、次のような資質や能力を持った学生を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

生物の機能に強い関心を持ち、生物資源の生産、医薬・食品・エネルギーへの応用等の分野で深い知識と技術を修得し、高度専門職業人として、地域や国際社会において活躍することを目指す意欲的な人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

生物資源に関する諸課題を理解し、深い専門知識により高度な解決策を提案できる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

地域生物資源の6次産業化や1次産業の持続可能な成長産業化について、多様な領域の人々と協働しながら、主体的に取り組むことに意欲的な人

(4) 各コースのアドミッション・ポリシー

(ア) 応用生命科学コースのアドミッション・ポリシー

応用生命科学コースでは、バイオサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域からバイオ産業を育成して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

バイオサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術も活用できる柔軟な思考力を有すると共に、強い関心を持って意欲的に勉学に励むことができる人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

新しいバイオ産業の創成に寄与するため、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(イ) 食料生物科学コースのアドミッション・ポリシー

食料生物科学コースでは、フードサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域から新しい食品産業を育成して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

フードサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術に強い関心を持つと共に、それらを活用する意欲のある人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

新しい食品産業の創成に寄与するため、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(ウ) 生物生産科学コースのアドミッション・ポリシー

生物生産科学コースでは、アグリサイエンス分野において広範な専門基礎学力と地域生物資源を高度に活用できる専門的応用能力を有し、地域から1次産業のスマート化を推進して国際社会の発展に貢献できる人材育成を目的として、次のような資質、能力、意欲を有する人を求めています。

1. 知識・技能・関心・意欲

アグリサイエンスの基本原理の学修や高度な実験手法の修得に必要な学力を備え、他の専門分野の知識と技術に強い関心を持つと共に、それらを活用する意欲のある人

2. 思考力・判断力・表現力等の能力

1次産業の成長産業化に寄与するために、課題を深く掘り下げる思考力、判断力、表現力、コミュニケーション能力を有する人

3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

他者と協力して問題解決に取り組む協働性と、主体性を持って課題を深く掘り下げる探究力を有する人

(5) 入学者選抜の基本方針

・面接・口頭試問では、主として各コース専門分野の知識・技能に加え、意欲・思考力・判断力・表現力・主体性・協働性を総合的に評価します。

Ⅱ. 募集人員

コース名	募集人数
応用生命科学コース	7人
食料生物科学コース	7人
生物生産科学コース	5人

※各コースの人数はおおよその目安であり、変更することがあります。

Ⅲ. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、学業成績・人物ともに優秀であり、所属する学校長又は学部長が責任をもって推薦でき、合格した場合は必ず入学し、修学する意志をもつ者とします。

- (1) 日本の大学を2026年3月31日までに卒業見込みの者（注1）
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を2026年3月31日までに授与される見込みの者

（注1）上記(1)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

Ⅳ. 出願手続

- (1) 提出書類等

書類等の種別	該当者	記入方法、注意事項等
入学願書	全員	所定の用紙に必要事項を記入し、写真（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4cm、横3cmのもの）を貼ってください。
受験票・写真票	全員	所定の用紙に必要事項を記入し、写真票に、上記入学願書と同一の写真（最近撮影した正面、脱帽、上半身縦4cm、横3cmのもの）を貼ってください。
志望理由書及び研究計画書	全員	所定の用紙に必要事項を自筆で記入してください。受入教員欄は直筆による署名が必要です。
プレゼンテーションデータ	全員	これまでの研究内容と大学院での研究計画について作成したパワーポイントのデータ及びそのPDFデータを生物資源産業学部在学学生は機械棟7F技術職員室に提出してください。 生物資源産業学部在学学生以外の方は、メールアドレス（bb.stu.section@tokushima-u.ac.jp）までデータを送付してください。 遅くとも試験日の休日を除く3日前には提出してください。
成績証明書	全員	出身大学（学部）長が作成した成績証明書

卒業（見込み）証明書	生物資源産業 学部在籍者	不要
	上記以外	必要 ＊短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科 の学位取得見込者は学校長の証明する修了見 込証明書及び学位授与申請予定証明書を添付 してください
推薦書	生物資源産業 学部在籍者	不要
	上記以外	所定の用紙により学校長又は学部長が作成し、厳 封したもの。
検定料払込証明書	全員	検定料 30,000 円 検定料を郵便振込した後、受領した「検定料払込 証明書（出願用）」を「検定料払込証明書」（本学 所定の様式）に貼って提出してください。
あて名票 3 枚	全員	合格通知送付用封筒に貼るので、確実に受け取れ る住所、氏名、郵便番号、電話番号を記入してく ださい。
受験票送付用封筒	全員	所定の封筒に 410 円分の切手を貼り、自己の住所、 氏名、郵便番号を明記したもの。

（注 1）志願者は、必ず出願前に、志望する受入教員と研究内容等について相談をしておいてください。

（注 2）受入教員を選択する場合の各教員の研究指導内容については、9 ページ以降を参照してください。

（2）出願期間

2025 年 5 月 21 日（水）～ 5 月 23 日（金）（必着）

（3）出願書類等の提出先

〒770－8513 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地 徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

（4）出願方法

- ① 入学志願者は、出願書類等を取りそろえ、出願期間内に持参又は郵送により出願してください。
- ② 郵送の場合は、「書留」とし、封筒には「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。
- ③ 持参の場合の受付時間は、9 時～ 12 時、13 時～ 17 時です。
- ④ 出願期間を過ぎたもの及び出願書類に不足のある場合は受理しません。

（5）受験票の送付

出願書類を受理したときは、本専攻受験票を 2025 年 6 月 2 日（月）までに着くように送付します。期限までにこれらの書類が到着しない場合は、必ず電話照会してください。

（電話番号 088－656－8021）

V. 入学者の選抜

(1) 試験日程および選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接・口頭試問の結果を総合して判定します。

試 験 日	試 験 時 間	試験科目等
2025年 6 月22日(日)	13:00～ 試験室集合時間 12:30	面接・口頭試問※

※これまでの研究内容と大学院での研究計画についてパワーポイントで資料を作成し、5分のプレゼンテーションを行っていただきます。

発表用原稿の利用やパワーポイントの発表者ツール、非表示スライドの使用は禁止です。

(2) 書類審査

出願書類（志望理由書、研究計画書）及び出身大学（学部）長が作成した成績証明書を審査し、選抜判定の資料とします。

(3) 配点及び合否判定基準

配 点			合否判定基準
書類審査	面接・ 口頭試問	総得点	総得点が基準点（6割）を満たした場合に、志望コースごとに上位から合格とします。同点の場合は、同順位とします。
80	120	200	

(4) 志望コース、受入教員の選択

入学願書、受験票、写真票、志望理由書及び研究計画書に、入学後志望するコース、受入教員を記入してください。ただし、当該の受入教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも、当該の受入教員の指導を受けられないことがあります。

VI. 合格者の発表

2025年 7 月11日(金) 16時

(1) 合格者には、本人あて文書により通知します。なお、電話等による合否についての照会には応じません。

（注）合格者情報は、学部ホームページ <https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/> に1週間程度掲載します。

ホームページに掲載する合格者情報は、情報提供サービスの一環として行うものであり、合格通知書を正式のものとします。

(2) 合格者は入学確約書を、2025年 8 月 7 日（木）までに提出してください。

この期日までに提出がない場合には、本学に入学の意思がないものとして取扱います。

Ⅶ. 入学手続き

入学手続きについては合格者に別途通知します。

授業料等学生納付金

(1)	入学料	282,000 円
(2)	授業料	前期分 267,900 円
		年 額 535,800 円
(3)	その他経費	8,000 ～ 54,000 円 ※出身大学等により金額は異なります。

(注 1) 在学中に授業料が改定された場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注 2) 上記については現行の金額であり、改定されれば改定金額が適用されます。

(注 3) 入学料、授業料ともに、経済的理由により納付が困難であり、かつ、学業が優秀と認められる者又は風水害等の特別な事情がある者は、選考の上、全額又は半額の免除が認められる制度があります。

(注 4) その他の経費には後援会費、学生教育研究災害傷害保険料等が含まれます。

(注 5) 入学手続に必要な書類等は、入学手続期間前に郵送で通知します。(2 月中旬予定)

Ⅷ. 障がいのある入学志願者との事前相談について

受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、あらかじめ相談が必要です。下記の期日までに本学生物資源産業学部事務課学務係へ申し出てください。

- (1) 相談の期限 2025 年 5 月 14 日（水）まで
- (2) 相談の方法

次の①～⑧を記載した申出書（様式は任意）を提出してください。必要に応じて、志願者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者との面談を行います。

- ① 住所、氏名、連絡先
- ② 出身学校
- ③ 志望コース・受験科目
- ④ 障がいの種類・程度
- ⑤ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた特別措置の内容
- ⑧ 日常生活の状況等

なお、参考のために健康診断書の提出を依頼する場合があります。

IX. 入学許可の取り消し

- (1) 合格者が、入学手続き完了後に、見込まれていた入学資格を取得できなかった場合には、入学許可を取り消します。
- (2) 出願書類及び入学手続等に関する書類等について、虚偽のものを提出したこと、又はその他の不正な事実が判明したときは、入学後であっても、入学許可を取り消すことがあります。

X. 個人情報の取り扱い

出願書類等に記載された氏名、生年月日、その他の個人情報については次の目的をもって、本学が管理し、他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

- ① 入学者選抜、合格通知及び入学手続等の入試業務
- ② 合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金援助、就職支援等）、授業料等に関する業務

また、入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入試結果の集計、分析及び入学者選抜方法の調査、研究（入試の改善や志願動向の調査、分析等）のために利用します。

XI. 安全保障輸出管理

徳島大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「徳島大学安全保障輸出管理規則」を定めて、物品の輸出、技術の提供、人材の交流の観点から学生の受入れに関して、厳格な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育が受けられない場合があります。願書の提出の前に指導教員予定者と相談をするなど、出願にあたっては注意してください。

詳細については以下の研究支援・産官学連携センターのホームページを参照してください。

<https://www.tokushima-u.ac.jp/ccr/active/ip/yusyutsukanri/yusyutsu.html>

XII. その他

- (1) 入学願書受付後は、提出した書類の変更及び検定料の払い戻しはしません。
- (2) 入学願書を郵便で請求するときは、320 円切手を貼った自己宛（住所・氏名・郵便番号明記）の返信用封筒（角 2 封筒 33.2 cm × 24.0 cm）を同封の上、大学院推薦入学特別入試募集要項請求と朱書きして本学生物資源産業学部事務課学務係へ申し込んでください。
- (3) 出願手続きその他に関して疑問の点がある場合は、返信用封筒（住所・氏名・郵便番号を明記し、郵便切手を貼ったもの）を同封の上、下記へ文書で照会してください。なお、受験票受領後提出する書類には、すべて氏名の上に受験番号を明記してください。

〒770-8513 徳島市南常三島町 2 丁目 1 番地

徳島大学生物資源産業学部事務課学務係

- (4) 学部ホームページ（下記 URL）もご参照ください。

<https://www.bb.tokushima-u.ac.jp/admissions-information/>

大学院担当教員の指導内容

志願者は、必ず出願前に、志望する受入教員と研究内容等について相談をしておいてください。ただし、当該の受入教員に多数の志望者が集中した場合、必ずしも、当該の受入教員の指導を受けられないことがあります。

【応用生命科学コース】

近年、生命が持つ多様な機能の有効利用技術は、農学、工学、医学等の分野で進められ、その成果は人類が抱えるエネルギー、環境、医療、食糧などの諸問題の解決に大きく貢献すると期待されています。

応用生命科学コースでは、生物工学的手法を用いて、生物資源または成分並びにそれらの化学合成誘導体から新しい機能性物質を探索し、医薬品、化成品、機能性食品等への応用によって新規バイオ産業の育成と経済の発展に寄与できる人材の育成を目指します。高安定性・高機能性の化合物の分子設計において、生物学だけでなく、他分野の手法を活用する方法を学ぶことにより、ヘルスサイエンスに応用可能な新しい化合物の開発に必要な高度な専門知識と技術を修得するための教育研究を行います。

応用生命科学コースの専門科目として、創薬学特論、細胞工学特論、生物化学工学特論、生体熱力学特論、生物物理化学特論、先端生命科学特論、環境生物学特論、再生医学特論、微生物工学特論、ケミカルバイオロジー特論、細胞情報学特論、微生物検査学特論等が開講されています。

令和7年4月1日現在

役職	受入教員	指導内容
教 授	浅 田 元 子	バイオマス変換工学と変換前処理システム効率化に関する研究
教 授	宇 都 義 浩	腫瘍移植鶏卵を利用した制癌剤の創薬研究
教 授	田 端 厚 之	微生物由来機能性因子の研究と微生物検出システムの開発
教 授	松 木 均	両親媒性分子集合系の生物物理化学的研究
教 授	山 本 圭	健康と病態にかかわる脂質ネットワークの研究
准教授	鬼 塚 正 義	バイオ医薬品の生産プラットフォーム開発
准教授	岸 本 幸 治	新規治療戦略に向けたがん幹細胞生存メカニズムの解明
准教授	後 藤 優 樹	高圧力下における脂質ナノ粒子の物性に関する研究
准教授	白 井 昭 博	光反応を利用した微生物制御技術の構築
准教授	玉 井 伸 岳	脂質膜の構造および物性に関する物理化学的研究
准教授	友 安 俊 文	微生物の宿主内や環境中での生存戦略についての研究
准教授	山 田 久 嗣	化学プローブを駆使した生体ケミカルバイオロジー

【食料生物科学コース】

世界では食糧難で十分な栄養が摂れていない人がいる一方で、日本のように過剰栄養を一因とする生活習慣病が蔓延する国もあります。人類が、等しく健康的で快適な食生活を送るためには、安定した食料供給と安全な流通、食と健康に関する正しい理解が必要です。さらに、地球環境に配慮した食の生産・消費システムの構築も急務であり、世界は最新の技術や知識を習得した食品プロフェッショナルを必要としています。

本コースでは、農学、工学、医学、栄養学、薬学的アプローチによる食品の加工・保蔵、機能、安全、栄養、未利用生物資源に関する研究に従事することができます。これらの研究に携わることで、農林畜水産物や未利用生物資源の栄養性、機能性、安全性等を深く理解し、その利点を有効に活用した新しい加工食品、機能性食品等の開発に貢献できる能力を養います。

専門科目として、栄養化学、機能性食品学、生体機能学、分子代謝学、資源利用学、蛋白質機能学、酵素化学、応用微生物学、食安全学、食品評価、食品化学の各特論が開講されています。

令和7年4月1日現在

役職	受入教員	指導内容
教 授	榎 元 廣 文	食品科学研究への質量分析イメージングの応用
教 授	櫻 谷 英 治	微生物変換と発酵を活用した有用物質生産に関する研究
教 授	田 井 章 博	食品および関連材料からの生物活性製品の研究開発
教 授	田 中 保	機能性脂質分子からの創食・創薬研究
准教授	赤 松 徹 也	唾液腺の発生・分化・再生と機能発現に関する研究
准教授	川 上 竜 巳	極限環境微生物由来酵素の機能構造応用研究
准教授	佐々木 千 鶴	未利用天然物資源由来の有用化学物質生産法の開発
准教授	向 井 理 恵	食品機能成分による健康増進効果の研究
講 師	栗飯原 睦 美	食品衛生と食品微生物に関する研究
講 師	阪 本 鷹 行	微生物の分子育種を活用した代謝工学に関する研究
講 師	林 順 司	タンパク質工学的手法による人工酵素の創製

【生物生産科学コース】

21 世紀の農業は、植物工場に代表されるように先端技術を利用した生物生産システム、生物が本来有する遺伝子による品種改良、生産生態系における資源管理手法や増殖技術、高付加価値を有する動植物の開発や種苗生産、さらにはフードシステムの基本的理解に基づく市場ニーズ動向を的確に捉えた販売戦略等の先端的・複合的な能力が求められています。そのため本コースでは、先端的作物生産、家畜繁殖、育種工学、植物工場、資源増殖等について製品開発や販売戦略等も含めて教育研究するとともに、安全な生物資源の安定供給に関わる諸問題について多面的観点から解決法を探究し、生産性の高い持続可能な 1 次産業および農林畜水産物を 6 次産業化する実践力を滋養するための高度な知識・技術力を強化した教育研究を行っています。

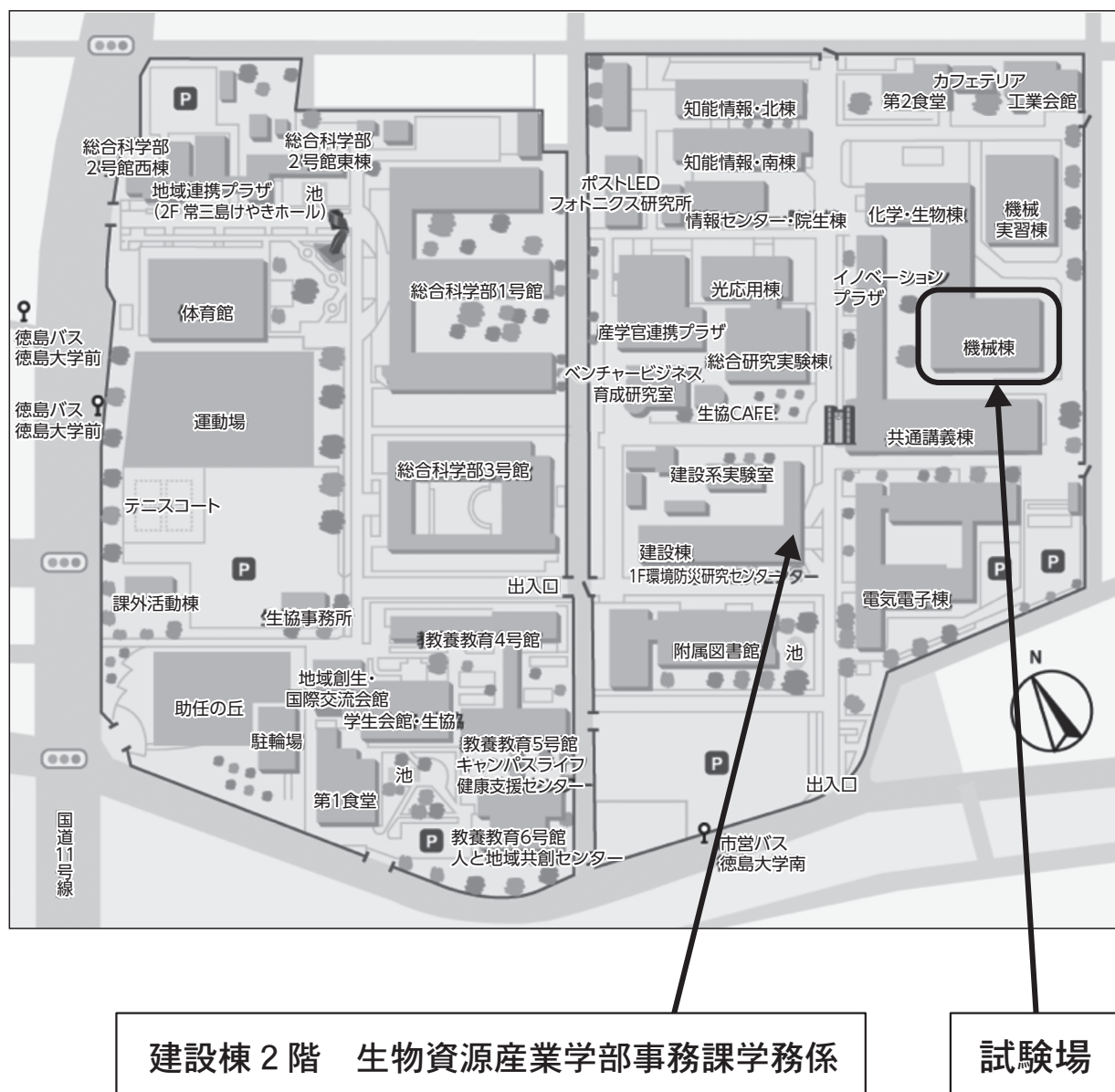
特に生物生産科学コース専門科目は、農作物や家畜の育種技術、植物工場などの生物生産システム、持続可能な生物資源の活用法等に関する専門知識について体系的に学び、さらに、ゲノム編集や細胞工学による動物や植物の品種改良および植物工場による生産管理に関する科目、6 次産業関連科目群等が開講されています。

令和 7 年 4 月 1 日現在

役職	受入教員	指導内容
教 授	刑 部 敬 史	植物遺伝子工学および分子育種の研究
教 授	竹 本 龍 也	胚で多彩な細胞が時空間的に産み出される発生システム
教 授	谷 原 史 倫	動物の生殖工学と遺伝子改変に関する研究
教 授	中 澤 慶 久	バイオエコノミーに関する研究と社会実装
教 授	服 部 武 文	森林微生物代謝機構の解明と林産物高付加価値への応用
教 授	三 戸 太 郎	昆虫のゲノム機能と資源化に関する研究
教 授	森 松 文 毅	動物生産システムおよび畜産物利用に関する研究・開発
准教授	岡 直 宏	海藻の陸上養殖技術の開発に関する研究
准教授	佐 藤 征 弥	植物保護および造園設計に関する研究
准教授	橋 本 直 史	地域農業に関する社会経済的分析
准教授	平 田 真 樹	効率的かつ持続的な動物生産システムに関する研究
准教授	宮 脇 克 行	植物栽培を中核とした生物環境工学とその応用研究
准教授	山 城 考	被子植物の分類、生態、保全に関する研究
准教授	山 田 晃 嗣	植物 - 病原菌間相互作用の形成に関わる分子メカニズムの研究
准教授	山 村 正 臣	森林植物由来有用成分の生合成機構の解明とそれら成分の有効利用
特任准教授	長 原 恵	産業動物の繁殖に関する研究
講 師	石 丸 善 康	植物栽培を中核とした生物環境工学とその応用研究
講 師	松 田 春 菜	陸産貝類の分類や保全に関する研究
講 師	渡 邊 崇 人	有用昆虫の応用利用に関する研究

令和9年3月31日退職予定

【常三島キャンパス】



徳島大学大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程)入学願書
(推薦入学特別入試)

										※受験番号(大学記入欄)			
ふりがな										写真貼付欄 最近撮影した本人確認が可能な写真(上半身、脱帽、正面、縦4cm×横3cm)の裏に、氏名を記入し、貼付すること。			
氏名		(姓)				(名)						男・女	
		(旧姓)											
生年月日(西暦)		年 月 日生											
国籍 (外国人留学生が志願する場合)				在留資格				在留期間		年 月 日 年 月 日		○をつける 国費 私費	
出願資格	卒業大学名		(国立・公立・私立)										
													大学
			学部										学科 課程
	その他の資格		西暦 年 月 卒業見込み・修了見込み 卒業・修了										
志望コース								受入教員					
連絡先	現住所		〒										
	携帯等電話												

(注) ①志望コース・受入教員名は、9 ページ以後を参照の上、必ず記入すること。
②※欄は記入しないこと。

(切りはなして提出すること)

徳島大学大学院創成科学研究科
生物資源学専攻(博士前期課程)受験票

推薦

受験番号※			
志望コース		受入教員	
氏名			

※欄は記入しないこと。
志望コース及び受入教員は入学願書と同じものを記入すること。
この受験票は、受験の際つねに携帯し、試験中は指定された位置に置くこと。

(切りはなさないで提出すること)



写真票

推薦

受験番号※			
志望コース		受入教員	
氏名			

写真貼付欄

最近撮影した本人
確認が可能な写真
(上半身、脱帽、正
面、縦4cm×横3cm)
の裏に、氏名を記
入し、貼付するこ
と。

※欄は記入しないこと。
志望コース及び受入教員は入学願書と同じものを記入すること。

(切りはなさないで提出すること)

机上票

受験番号	※
------	---

※欄は記入しないこと。

(切りはなして提出すること)

推薦

本学大学院への志望動機を記載すること。

③受入教員欄には、志望する受入教員から直筆による署名をもらうこと。

(切りはなして提出すること)

氏 名

これまでの学修・研究の経過、今後の研究計画を詳細に記載すること。

(切りはなして提出すること)

受験 番号	※
----------	---

令和 年 月 日

徳 島 大 学 長 殿

大学名又は高等専門学校名
学校長又は学部長氏名

推 薦 書

下記の者を、貴研究科が実施する推薦入学特別入試の志願者として責任をもって推薦いたします。

志望コース

志望教員名

受験者氏名

記

推 薦 理 由	
卒業論文名	

(注) 推薦される理由を具体的に記入してください。
(注) ※欄は大学が記入します。
(注) ※2 欄には現在の指導教員の直筆による署名が必要です。

指導教員※2

(切りはなして提出すること)

検定料の払い込みについて

- 1 この払込用紙は、本学学納金の払込用紙としてゆうちょ銀行の承認を受けたものです。
- 検定料を払い込む場合は、必ずこの払込用紙を使用して最寄りのゆうちょ銀行又は、郵便局の窓口から払い込んでください。
- (ATM は、使用しないでください。)
- 2 検定料を払い込む際には、払込用紙のすべての志願者欄に氏名等を記入の上、切り取り線から払込用紙を切り取り、ゆうちょ銀行又は、郵便局の窓口へ検定料に手数料を添えて提出してください。(払込用紙は3連式ですので、切り離さないでください。)
- 3 検定料を払い込んだ際には、日附印が押印された「検定料払込証明書（出願用）」を必ず受領してください。
- 4 「検定料払込証明書（出願用）」は、「検定料払込証明書」の指定の欄に貼付して提出してください。
- 5 この払込用紙の「振替払込請求書兼受領証」をもって国立大学法人徳島大学の領収証書に代えさせていただきますので、別に領収証書を送付することはありません。

切 り 取 り 線

00		口 座 記 号 番 号												金 額		千 百 十 万 千 百 十 円	
0 1 6 3 0 0		0		9 2 5 3 5		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		国立大学法人 徳島大学												特 殊		取 扱	
通 信 欄		2026(令和8)年度大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程) 入学試験検定料															
志 願 者		おところ(郵便番号)												日 附 印			
おなまえ		様												日 附 印			
(電話番号)		様												日 附 印			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行)(承認番号徳第 4381 号)														備考			

各票の※印刷欄は、志願者において記載してください。

口 座 記 号 番 号		0 1 6 3 0 0		9 2 5 3 5		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		国立大学法人 徳島大学												特 殊		取 扱	
通 信 欄		2026(令和8)年度大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程) 入学試験検定料															
志 願 者		おなまえ												日 附 印			
おなまえ		様												日 附 印			
(消費税込み)		様												日 附 印			
備考														備考			

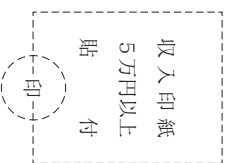
この受領証は、大切に保管してください。

口 座 記 号 番 号		0 1 6 3 0 0		9 2 5 3 5		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円		金 額		3 0 0 0 0		千 百 十 万 千 百 十 円	
加入者名		国立大学法人 徳島大学												特 殊		取 扱	
通 信 欄		2026(令和8)年度大学院創成科学研究科生物資源学専攻(博士前期課程) 入学試験検定料															
志 願 者		おなまえ												日 附 印			
おなまえ		様												日 附 印			
(消費税込み)		様												日 附 印			
備考														備考			

(徳島貯金事務センター 第 32 号)

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。



この場所には、何も記載しないでください。

生物資源学専攻博士前期課程
入 学 試 験 志 願 者 用

受験番号	※
氏 名	

検 定 料 払 込 証 明 書

「検定料払込証明書（出願用）」貼付場所

※印欄は記入しないこと。

（切りはなして提出すること）

あ て 名 票

- (注) 1 選考結果及び連絡事項を郵送するので、住所・氏名・郵便番号・電話番号を記入してください。
2 住所がマンション等の場合は、マンション・アパート名、部屋番号も記入してください。
3 電話番号は、郵送の際に連絡がつく番号を記載してください。
4 ※印は記入しないでください。

(住所)

(氏名)

殿

(電話番号)

※受験番号

(住所)

(氏名)

殿

(電話番号)

※受験番号

(住所)

(氏名)

殿

(電話番号)

※受験番号

(切りはなして提出すること)

速達

- ①410円の切手をはること
②住所氏名郵便番号を明記すること

〔受験票在中〕

殿

令和 年 月 日

徳島大学生物資源産業学部
事務課学務係

徳島市南常三島町2丁目1番地

電話 (088) 656-8021・8020

FAX (088) 656-8029

郵便番号 770-8513

速達

770-8513

郵便
切手

徳島市南常三島町二丁目一番地

徳島大学生物資源産業学部
事務課学務係 行

大学院願書在中

書留

差出人	住所	〒
	氏名	

この封筒の中に次の書類等を下表の整理順に揃え、確認の上提出すること

整理順	区分	チェック覧	出願書類一覧	備考
1	全 員	☐	入学願書	
2	全 員	☐	受験票・写真票	
3	全 員	☐	志望理由書及び研究計画書	
4	全 員	☐	成績証明書	
5	生物資源産業学部 在 籍 者 以 外	☐	卒業（見込み）証明書	
6	生物資源産業学部 在 籍 者 以 外	☐	推薦書	
7	全 員	☐	検定料払込証明書	
8	全 員	☐	あて名票	
9	全 員	☐	受験票送付用封筒 (410 円分の切手貼付)	

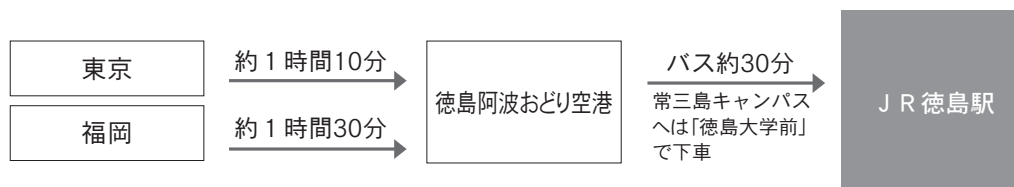
上記の書類が揃っているか確認し、チェック覧に☑を入れてから封筒に入れてください。

位置図



交通アクセス

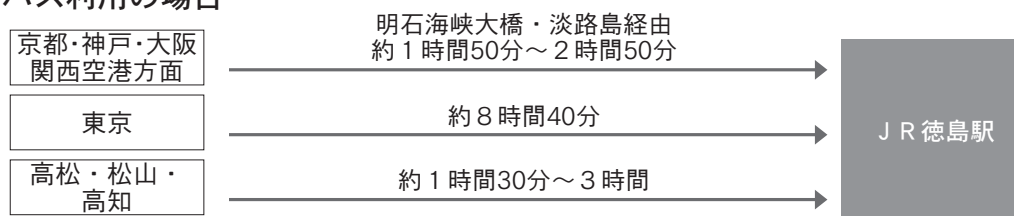
■航空機利用の場合



■鉄道利用の場合



■バス利用の場合



■フェリーボート利用の場合

